

会社設立以来、大手フィルムメーカーの下請企業として、映画フィルムにかかわる金属加工と塗装、ロールフィルム用の遮光紙の切断などを生業としてきた。フィルム需要の停滞により製品ラインの減少を余儀なくされ、映画フィルム収納用の金属缶を残すのみとなる中、メーカーがフィルム事業撤退を決定。これを転機として、自らメーカーとして映画フィルム・マイクロフィルムなどのアナログメディアの保存事業に舵を切る決断を下す。フィルム収納用の金属缶を継続して製造・販売すると同時に、金属缶の別用途開発、保存事業に関連した新製品・サービス開発など精力的に事業を推進している。

代表者名 石井 昭光
設立年月日 昭和30年5月
所在地 〒250-0123 神奈川県南足柄市中沼69
従業員数 12名
資本金 1,000万円
Tel. 0465-74-0324
Fax. 0465-74-0329
http://www.ashisei.com/

Examiner's Eye
調査員考察

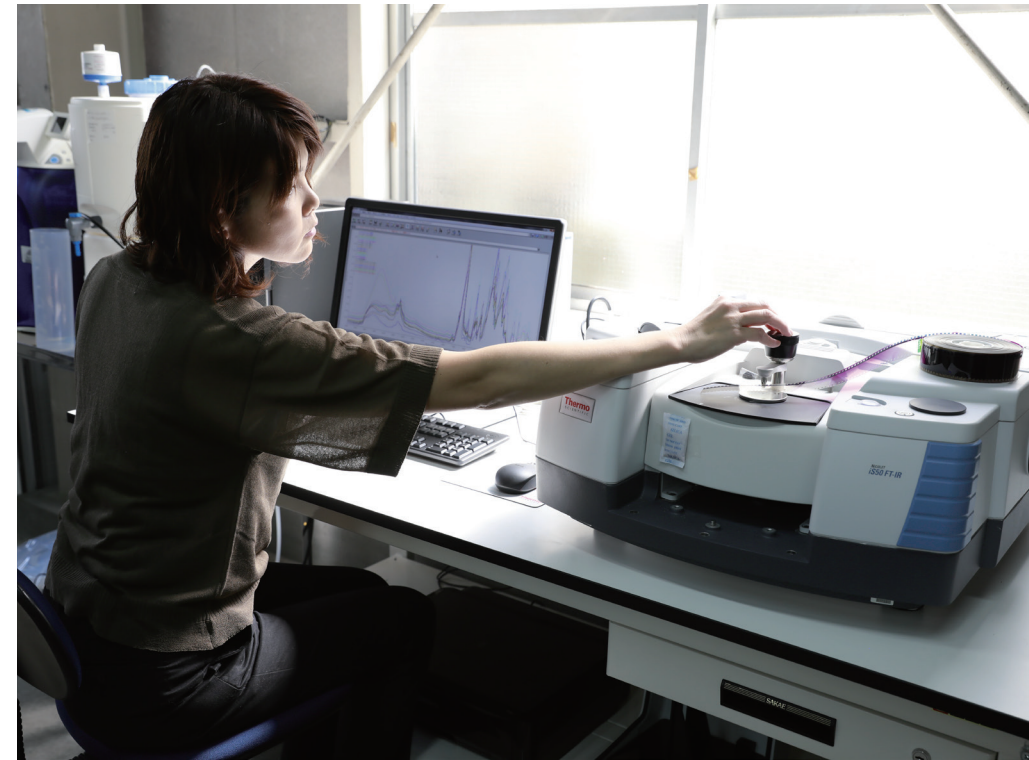
親企業の事業撤退を好機とらえて下請から脱却し、今までのマーケットを活かしながら、事業を展開してきた。下請時代の金属加工業ではなく、アナログメディアの保存事業という独自性高いサービスに転換。市場動向や顧客ニーズをとらえ、既存事業に固執せず、斬新で革新性の高いサービスを推進する好事例である。



▲石井昭光社長



▲部品を製造する 3D プリンタ



▲フィルムの劣化状況を診断する分析装置

映画フィルムの劣化分析と3Dプリンタによる映画関連部品製造

フィルム映画を後世に残すため、フィルムの劣化分析や3Dプリンタを活用した部品の製作など独自サービスを開発。デジタル化に伴いアナログメディアの保存の重要性に着目した取り組みである。

補助事業のきっかけ

デジタル化の進展によりアナログ関連商品が製造中止になるなど需要が停滞する中、一部のプロやマニアにはアナログ商品の需要が引き続き存在していることを発見。フィルムの劣化を早期に発見し、機会を逃さずコンテンツを活用したいといった需要に対し、化学的な劣化診断サービスの導入を検討。同時に、映画関連部品への細かいニーズに3Dプリンタで対応し、顧客との接点を増やすことで、事業展開を強化できると考え補助事業に取り組んだ。

事業概要

分析機器を導入し、映画フィルムの劣化を分析し、その有用性を実証。劣化の進行度を定量的に診断することで、コンテンツ活用やフィルム修復に必要なタイミングで実施することを可能とする。さらに3Dプリンタを導入し、映画関連部品を製作。製品化や販促品としての活用など今後の営業活動に活かす基盤を整備している。

事業化状況

平成27年より、化学的劣化診断サービスを開始。3Dプリンタによるカスタマイズ部品についても、業界の展示会・セミナーへの出展を中心に販売を開始している。

映像の利活用はデジタル・保存はアナログ

フィルムが劣化して酢昆布のような状態になることを「ビネガーシンドローム」と言います。この状態では映写機による投影に耐えられません。かつては職人が臭いや見た目といった五感で劣化の進行を確認していましたが、人の五感では正確な判断に限界があります。劣化の進行度によりデジタルデータ化をする優先順位を決定するため、私たちは劣化状態を分析する装置を導入し、化学的・定量的に劣化状態の診断、保存方法や修復の助言を行っています。いわばフィルムの健康診断のようなものです。データ変換後は、フィルムは長期保存を目的に、データは再編集やネット配信事業等に活用する事を目的に、各々活用します。

近年、記録データの「利活用はデジタル・保存はアナログ」が主流となりつつあり、アナログメディアが改めて注目されています。2010年前後にかけて、撮影時等においてフィルム使用量が激減しましたが、現在、再認識され始めています。大切なフ

ィルムは、将来的に長く使用できるように状態よく保存し、配信はデジタルで行うという機能分担がなされているのです。

顧客ニーズをとらえて部品製作・提供

3Dプリンタを用いた部品製作にも取り組んでいます。例えば、映画フィルムの巻き芯である「コア」。デジタル化によって生産を中止するメーカーが相次ぎました。現在も販売はされていますが、ロットが大きく、少しでも欲しいマニアには、購入しづらい状況です。当社では3Dプリンタで少量生産・販売しています。3Dプリンタ製品は通気性のよさが特徴です。当社で製造する映画フィルムの保存缶は金属なので長期保存するとフィルムから揮発するガスがたまりやす。3Dプリンタで作った部品だと溶解したプラスチックが糸状に積層され形が構成されますが、その層の間にすき間があるため通気性が高いのです。今後は単価をどう下げるかが課題です。



▲3D プリンタで作られたカスタマイズ部品

ィルムの劣化診断、3Dプリンタによる映画関連部品の製造は当社だけのオンラインサービスだと自負しています。ただ、認知度が低く、需要を開拓しきれいていません。現在は映画業界のセミナーでブースを出展するなど販売の場は限られています。今後、今後は広く展開していきます。また、劣化を防止する研究開発にも着手し、映画フィルムだけにとどまらず、保存を必要とするあらゆるものに広げてゆくつもりです。保存事業という分野において、異彩を放つ製品とサービスを展開し存在感を示していきたいです。